



市毛まさひろ
042-539-1775



池田 公三
042-530-0705

福生市議団ニュース

生活相談

法律相談

市毛まさひろ→090-3223-3923
池田 公三 →090-7946-5137

毎月第2・第4 火曜日 要予約
市毛・池田まで

横田基地から

地下水汚染の疑い

米軍は日常的に消火訓練を行い、8年前には有害物質を含んだ泡消火剤約3000ℓの漏出事故を起こしています。土壌にしみこんだ有害物質が多摩川や地下水を汚染している可能性があるため、福生市は市民の安心のために市内の湧水や井戸水に汚染が無いが早急に調査すべきです。

12月議会報告①

米軍が使用する泡消火剤にPFOS(ペーフォス)とPFOA(ペーフォア)というフッ素化合物が含まれています。この科学物質は比較的最近有害性が明らかになり、2015年に国内主要フッ素化学メーカーによる自主的な使用廃止がされています。

米本国では既に問題となっていて、世界中の米軍基地のうち2542カ所所でサンプリング調査を行い、沖縄でも県として調査を行っています。そのような情勢を説明し、市として調査をしているのかを質問しましたが「横田基地の雨水管の環境調査はおこなっているが、フッ素化合物は調査項目となっていない」との答弁でした。2018年12月10日付けの沖縄タイムスの報道から「横田基地で2012年、泡消火剤3028ℓが貯蔵タンクから土壌に漏出した。2016年に基地内11の井戸から採取した水を検査した



↑ 沖縄・嘉手納基地でも大規模に流出した過去が！(2015年5月)

結果、PFOSとPFOAの量は最大35pptだった。2005年に京都大学大学院医学研究科などのチームが多摩川で最大440pptのPFOSが検出されたこと、横田基地からの排水を関連づける論文を発表したという情報を市に伝え、早急に調査項目に含めるよう要望しました。普天間基地に接する宜野湾市の住民からは全国平均の4倍のPFOS、22倍のPFOAが血中から検出されていることから、私たちはどうなのか大変心配です。

米軍横田基地について



朗報

オスプレイ新施設が建設中止に！

12月議会報告②

昨年10月に5機のCV-22オスプレイが正式に配備され、それに伴う様々な施設がさるようとしていました。ところが、米空軍本国のHPにこれら工事の予算を凍結した、と書いてあり10月21日付の新聞赤旗でも報道されました。そのことを市に質問したところ、「11月29日に国から情報提供があり、令和2年2月から令和4年5月までの工期で予定されていた、格納庫・AMU(航空機整備ユニット)の建設、飛行隊施設及び倉庫の建設、シミュレーター施設の建設について、工事の着工日など工期が未定となった」との答弁を得ました。議会の質問

通告も終わった後、ぎりぎりになって情報提供してきたのですが、これは重要な答弁で、アメリカのHPにそのことが掲載されているというだけでなく、国も米軍に確認して、間違いなく「未定(つまり中止)」だということがこの質問で確認することが出来ました。



→ 建設中止となった新施設一覧

用語解説

<PFOS と PFOA>

両物質に代表される有機フッ素化合物は自然界でほぼ分解されず、人体や環境中に長く残る。残留性のある有害物質を規制する国連のストックホルム条約会議で製造・使用が原則禁止され、日本でもPFOSは2010年に法律で製造・使用が原則禁止された。

健康影響では、血液中の総コレステロール値を増やすほか、PFOAでは米ウェストバージニア州などで1リットルあたり数千ナノグラムなど極めて高い濃度の水を飲んでいた住民について、一部のがんなどに関連する可能性が科学者グループから指摘された。



議員提出議案1号・国連各委員会の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の賛否について、日本共産党福生市議団の判断に誤りがありました。お詫びいたします。

公共施設整備基本計画について

福生駅西口地区に、図書館、保健センター、音楽・スポーツ・学習・会議等に使える大中小のマルチスペース、子育て支援施設など、様々な目的に市民が利用できる複合公共施設が計画されています。日本共産党会派は、誰でも幅広く利用でき、社会教育施設の一層の充実につながるよう、現計画の改善を求めました。

① 図書館は市の直営で

現計画では、ここに設置される諸施設は保健センターを除き、図書館も含めて、民間業者の連合組織に一括指定管理委託する計画です。

しかし、図書館法にも規定されているように、図書館は市民の知る権利、学ぶ権利を公的責任で保障すること、そのため一切の使用料徴収は禁止されています。民間業者には市の委託料しか収入の道はありません。民間業者が営業を継続するためには、委託料を順次引き上げるか、人件費を引き上げていくしか方法はありません。



マルチスペース(小)の例(千葉県東葛市 地区交流プラザエスエス)

② マルチスペースを公民館施設として活用を

福生市には、市民のニーズに添えてきた図書館運営のノウハウもあり、市民一人当たりの蔵書数も東京26市中で1位という実績もあります。そうした実績の上に、さらに駅前という立地や複合施設という条件も生かして、新たな市民層に図書館利用を広げるチャンスです。ぜひ、市の責任で、市の直営で、市の4つの図書館との密接な連携を確保して運営するべきです。

現計画では、多くの市民が多目的に使えるようなマルチスペースを複数設置する予定です。福生市は公民館・地域会館が充実し、市民は約200の公民館サークルで活発に活動していますが、活動場所が不足しています。そこで、このマルチスペースを公民館として位置づければ、さらに多くの市民が公民館活動に参加できるようになります。特に、通勤・通学帰りの若者世

③ 誰もが来られるよう市内循環バスを今こそ

「老若男女あらゆる世代の市民が活躍できるような、将来にわたる福生の文化・創造の発信拠点に」としているこの複合公共施設を成功させるためには、福生市のどこに住んでいても、福生駅西口まで、誰でも気軽に安全に來られるようにすることが不可欠です。

そこで、懸案だった、誰でも乗れる市内循環バスを今こそ導入すべきと提案しました。現在の福祉バスを統合し、誰でも乗れ、コースも、便数も増やして利便性を高めます。坂道の多い福生市では自転車も大変です。CO2削減、高齢運転者の事故防止にも役立ちます。

12月市議会補正予算で

えっ?? 学校給食を民間委託?

おいしく安心安全な給食に不安・市の責任はどこへ

「欠陥①」栄養士が作った献立を現場で指導指示出来ないシステム

市直営のこれまでの調理現場では、グループごとに正職員の方が各調理部門のリーダーとなって、おいしい給食、安心・安全な給食のための技術や考え方をパート調理員の方に伝え、守ってきました。委託にすれば、その保証はありません。

また、さすがに、給食の献立作成は今後も正職員の栄養士さんが担うとされていますが、その献立を実際においていく、安心・安全な給食にするために、委託会社で雇用された調理員さんに調理現場で直接伝え、指示することは「偽装請負」という違法行為となるので、出来ません。これどうして、おいしい給食、安心・安全な給食が作れる保証があるのでしょうか。

「欠陥②」給食の安心・安全を引換えの費用削減効果にも疑問あり

補正予算書では、民間委託化による改善項目として「費用の削減」を掲げています。しかし、予算説明書を見る限り、削減効果はなく、かえって費用が増大する内容になっています。池田議員の指摘に対して市は、これまで調理現場にいた9人の正職員の異動・退職で、人件費を削減でき、学校給食調理業務としては1300万円弱の削減効果が期待できるといっていました。しかし、委託会社が調理員さんの中に正職員さんを今と同数配置するとすれば、その分の委託料も補正

予算より上がりますから、経費削減効果は期待できません。むしろ委託会社の利益分だけ、コストは増えることになりました。

結局、調理業務のすべてをパートさんで行うことが前提になっているといわざるを得ません。これどうして、おいしい給食、安心・安全な給食が作れる保証があるのでしょうか。子どもたちへのおいしく、安心・安全な給食の保障という大切なものと引き換えにした民間委託です。

「欠陥③」不安定雇用を増やし、官製ワーキングプアに拍車か

市民の暮らしに直接かかわる現場の業務は、専門性・継続性・地域性が求められます。正職員に比べ、3分の1から2分の1程度の低賃金で1年単位の不安定雇用のパートの方にこうした責任を負わせることは自治体として無責任ではないでしょうか。結局、学校給食の民営化は、更なる官製ワーキングプアを作り出し、自治体業務の現業部門のほとんどすべてを民間委託化、パート化していくことにつながるということなのです。自治体の使命である、住民の安心・安全・健康・幸せの追求よりも、行政コスト削減を優先させる学校給食の民営化には強く反対します。

